

収支シミュレーションの作成方法

公立北部医療センターは、北部医療圏における唯一の急性期病院として、医師の確保を図り、安定的かつ効率的で地域完結型の医療提供体制を構築する必要がある。また、病院経営によって生み出された利益を、病院の人材、施設、設備に対し継続的に投資し、それによって生み出された利益を更なる投資として人や物に還元するといった経営の好循環を実現する必要がある。そのために、公立北部医療センターが担うべき役割や機能等を踏まえた上で、安定的かつ効率的で地域完結型の病院経営を実現するために、様々なパターンの収支シミュレーションを行っている。

令和2年度は、収支シミュレーションの作成にあたり、6つの要素（病床数（回復期病床の有無を含む）、病床稼働率、診療単価、人件費の伸び率、整備費用、組合への負担金の額）について、各2から3パターンを設定し、組み合わせることにより検討を進めている。

これらの各条件をどのように設定するかにより複数パターンのシミュレーションが可能であり、今後、基本計画の策定を進める中において、基幹病院及び公立病院としての役割を果たすとともに、安定的かつ効率的で地域完結型の病院経営ができる条件（シミュレーションパターン）を引き続き検討していく。

今回は、現時点で実現可能性が高いパターンとして、450床（合意書ベース）と402床（回復期病床無し）の2条件について、それぞれ損益結果が良いパターン、安定的に黒字が確保できるパターンの各種を表記している。

1-1. 450床（損益結果が良いパターン）

（単位：千円）

勘定科目	令和8年度 2026年度 統合1年目	令和13年度 2031年度 統合6年目	令和17年度 2035年度 統合10年目	仮設定概要（各パターン変動要素）
収益合計	15,897,736	16,698,352	16,590,229	<ul style="list-style-type: none"> 病床稼働率：【高度急性期：80%】 【一般：90~96%】 【回復：96~98%】 回復期病床：保有 一般病床の入院診療単価：高め
1 医業収益	14,375,736	15,150,710	15,418,204	
2 医業外収益	1,522,001	1,547,642	1,172,025	
費用合計	15,143,750	15,827,223	15,578,282	<ul style="list-style-type: none"> 人件費の伸び：県職員の伸び【1%弱】 整備費用：新八重山病院の病床当たり面積
1 給与費	8,204,342	8,528,532	8,797,586	
2 材料費・経費	4,705,038	4,954,428	5,040,147	
3 減価償却費	1,477,640	1,551,960	920,419	
4 医業外費用、他	756,730	792,303	820,130	
経常損益	753,986	871,129	1,011,947	

2-1. 402床（損益結果が良いパターン）

（単位：千円）

勘定科目	令和8年度 2026年度 統合1年目	令和13年度 2031年度 統合6年目	令和17年度 2035年度 統合10年目	仮設定概要（各パターン変動要素）
収益合計	15,161,563	16,107,538	16,030,537	<ul style="list-style-type: none"> 病床稼働率：【高度急性期：80%】 【一般：90~96%】 回復期病床：無し 一般病床の入院診療単価：高め
1 医業収益	13,771,454	14,689,321	14,948,195	
2 医業外収益	1,390,109	1,418,217	1,082,342	
費用合計	14,117,552	14,830,890	14,626,497	<ul style="list-style-type: none"> 人件費の伸び：県職員の伸び【1%弱】 整備費用：新八重山病院の病床当たり面積
1 給与費	7,581,739	7,880,451	8,128,360	
2 材料費・経費	4,486,342	4,781,827	4,864,765	
3 減価償却費	1,330,058	1,405,357	840,937	
4 医業外費用、他	719,413	763,255	792,435	
経常損益	1,044,011	1,276,648	1,404,040	

1-2. 450床（安定的に黒字が確保できるパターン）

（単位：千円）

勘定科目	令和8年度 2026年度 統合1年目	令和13年度 2031年度 統合6年目	令和17年度 2035年度 統合10年目	仮設定概要（各パターン変動要素）
収益合計	15,524,027	16,312,010	16,190,814	<ul style="list-style-type: none"> 病床稼働率：【高度急性期：80%】 【一般：84~90%】 【回復：88~90%】 回復期病床：保有 一般病床の入院診療単価：高め
1 医業収益	13,856,101	14,619,707	14,877,066	
2 医業外収益	1,667,927	1,692,303	1,313,748	
費用合計	15,260,718	15,937,639	15,679,235	<ul style="list-style-type: none"> 人件費の伸び：県職員の伸び【1%弱】 整備費用：県外病院（救命救急センター機能あり）の病床当たり面積
1 給与費	8,204,342	8,528,532	8,797,586	
2 材料費・経費	4,591,503	4,837,225	4,919,675	
3 減価償却費	1,678,981	1,753,301	1,121,760	
4 医業外費用、他	785,892	818,580	840,213	
経常損益	263,310	374,371	511,579	

2-2. 402床（安定的に黒字が確保できるパターン）

（単位：千円）

勘定科目	令和8年度 2026年度 統合1年目	令和13年度 2031年度 統合6年目	令和17年度 2035年度 統合10年目	仮設定概要（各パターン変動要素）
収益合計	14,405,640	15,270,775	15,172,756	<ul style="list-style-type: none"> 病床稼働率：【高度急性期：80%】 【一般：90~96%】 回復期病床：無し 一般病床の入院診療単価：平均
1 医業収益	12,884,887	13,723,046	13,963,533	
2 医業外収益	1,520,753	1,547,730	1,209,223	
費用合計	14,073,060	14,755,931	14,539,769	<ul style="list-style-type: none"> 人件費の伸び：県職員の伸び【1%弱】 整備費用：県外病院（救命救急センター機能あり）の病床当たり面積
1 給与費	7,581,739	7,880,451	8,128,360	
2 材料費・経費	4,248,680	4,518,454	4,595,462	
3 減価償却費	1,510,315	1,585,614	1,021,193	
4 医業外費用、他	732,327	771,412	794,754	
経常損益	332,580	514,845	632,987	